

- 近藤純正, 山澤弘実, 1983: 局地風速と現実複雑地表面の粗度. 天気, 30, 553-561.
- Kondo, J. and H. Yamazawa, 1986: Aerodynamic roughness over an inhomogeneous ground surface. Boundary-Layer Meteor., 35, 331-348.
- 桑形恒男, 近藤純正, 1990: 東西南部から中部地方までのアメダス地点における地表面粗度の推定. 天気, 37, 197-201.

- 桑形恒男, 近藤純正, 1991: 西日本アメダス地点における地表面粗度の推定. 天気, 38, 491-494.
- 桑形恒男, 近藤純正, 1992: 風速計高度や粗度の違いを考慮した1991年台風19号の強風解析. 自然災害科学, 11, 87-96.
- Mart, L., 1981: The early evening boundary layer transition. Quart. J. Roy. Meteor. Soc., 101, 147-161.



1999年度 気象研究所研究発表会 「確かな未来を築くために一測定・探査と予測一」のご案内

気象研究所では、日頃の研究成果を広く一般に公表する研究発表会を開催しています。今年度は、下記の11の研究テーマについて発表を予定しています。多くのご来所をお待ちしております。

日時：1999年11月5日（金）9：30～16：45
場所：気象研究所講堂（茨城県つくば市長峰1-1）
交通案内：

（バス）JR ひたち野うしく駅←→つくばセンター
気象研究所前下車

参加費：無料（申し込み不要）

プログラム：

<午前の部>

1. 東北日本の火山噴火と周辺地震活動との関連性について
(地震火山研究部) 中禮正明
2. 都市の地表面の熱的特徴とパラメタリゼーション
(環境・応用気象研究部) 栗田 進ほか
3. 寒候期のシアラインを伴う現象
一局地前線から南岸低気圧まで—
(予報研究部ほか) 高野 功, 清野直子ほか
4. 温暖化の解析技術の開発に関する研究
—自然変動と地球温暖化—
(気候研究部) 野田 彰ほか

<午後の部>

5. 衛星高度計データから得られた全球海面水位の変動
(海洋研究部) 倉賀野 連
6. 対流圏上部における微量気体濃度の変動
(地球化学研究部) 松枝秀和ほか
7. 西太平洋域のエロゾル及び大気微量成分の変動：航空機による観測
(環境・応用気象研究部) 牧野行雄ほか
8. 衛星による対流圏微量気体遠隔測定法に関する研究
(物理気象研究部) 青木忠生ほか
9. 衛星による偏光観測データからのエロゾルの光学的特性の推定手法の開発
(気象衛星・観測システム研究部) 増田一彦ほか
10. 米国ネヴァダ州 Railroad valley における天空光の偏光度と地表面反光の観測
(気象衛星・観測システム研究部) 高島 勉ほか
11. 放射輝度に及ぼす不均質地表面の影響を考慮した衛星計測
(気象衛星・観測システム研究部) 高島 勉ほか

問い合わせ先：気象研究所企画室

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1

電話：0298-53-8539

ホームページ：<http://www.mri-jma.go.jp>